

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 身体的レベルの低下などにより、戸外では、車いすでなければ老人車や手引きでは歩行困難な利用者が半数を占めている。 このため、転倒などのリスクを回避するあまり、外出の機会が年中行事等に限定されがちであり、散歩や外出の機会を利用者が必要とするサービスとして、生活の中に位置づけることが難しい。	各種行事等のような計画的な外出とあわせて、あらゆる機会を活用して利用者の外出を支援する。	(1) 老健のリフト車を借用しての、計画的な外出支援。 (2) 庭の遊歩道を活用した散歩。 (3) 買い物や美容院等個人的な外出に対する支援。	12ヶ月
2	35	○災害対策 火災の場合や地震、火山の噴火等自然災害の場合も含め、利用者全員が安全に避難することが難しい状況にある。とりわけ、二階建てという建物の構造からも、夜間の火災発生時における避難誘導が課題である。	夜間に災害等が発生した場合に、利用者全員を安全に避難誘導できる体制を整える。	(1) 2階ヘスロープ及び防火シャッターの設置。 (2) 夜勤体制での消防訓練(避難誘導)の実施。 (3) 地元区、特に消防団との連携。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。